

政策整理番号 9

評価シート(B)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部環境対策課	関係部課室	産業経済部むらづくり推進課, 畜産課, 土木部下水道課, 河川課
------	-----	-------	------------	-------	----------------------------------

政策番号	1 - 3 - 2	政策名	環境負荷の少ない地域づくりの推進
------	-----------	-----	------------------

施策番号	2	施策名	河川や湖沼、海等の水環境の保全
------	---	-----	-----------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効

概ね有効

課題有

[政策評価指標達成状況から] 概ね有効

- ・指標名:公共用水域(河川・湖沼・海域)の水質 達成度 A
- ・全環境基準点におけるBOD及びCODの年平均値の平均は1.7mg/lと目標値を満足した。
- ・しかし、閉鎖性水域の湖沼及び海域では、環境基準の達成率が悪く課題もある。

[県民満足度(政策)の推移から] 課題有

- ・政策の重視度は80点と高い。しかし、政策の満足度は50点と低く、満足度が60点以上の回答者割合は40%台である。このことから、県民はより上位の環境を求めていると思われる。

[社会経済情勢を示すデータの推移から] 概ね有効

- ・下水道の普及率が72.2%、家畜排せつ物処理施設の整備は、施設設置による受益農家戸数が平成15年度で56戸、平成16年度で147戸、平成17年度で122戸と、3ヶ年の合計が325戸と整備され今後も進んでいくことから施策の効果が認められる。

[総括]

- ・政策評価指標は満足しており施策効果が認められ有効である。しかし、県民は環境に対する関心が高く、より良い環境を求めていることから満足度は50%程度になっている。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	水質保全対策事業	6		松島湾リフレッシュ事業環境改善効果評価事業
2	主	下水道整備事業(流域・公共下水道事業)	7		家畜排せつ物処理施設緊急整備事業
3		畜産環境総合整備事業	8	重	水循環保全基本計画及び流域水循環計画策定事業
4		生物を利用した水質浄化事業	9		
5	主	水環境の整備事業	10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切

概ね適切

課題有

[国,市町村,民間団体との役割分担] 適切

- ・(国)水質保全対策事業(下水道整備事業・家畜排せつ物処理施設整備事業)には国が事業補助を行っている。
- ・(県)公共用水域の水質を常時監視し、その結果をもとに施策の推進を図っている。
- ・(市町村)国、県と連携し各種水質保全対策事業を行っている。
- ・(民間団体)水生生物調査を通じ、身近な河川の水質を確認し水質保全活動を行っている。
- ・以上のように国、市町村、民間団体がそれぞれ役割分担しており適切である。

[施策目的を踏まえた事業か] 概ね適切

- ・下水道整備・家畜排せつ物処理施設整備等は、県内の河川、湖沼、海域の水質を保全するための事業であり、施策目的を実現するために必要な事業である。

[事業間で重複や矛盾がないか] 適切

- ・目的に応じて事業が適切に設定されており、重複や目的が矛盾する事業はない。

[社会経済情勢に適応した事業か] 概ね適切

- ・環境に対する県民の関心度は高いことから、公共用水域の保全は社会情勢に適応した事業である。

[施策重視度と満足度のかい離が大きいか](事業の必要性) 概ね適切

- ・環境に対する県民の関心度は高いが満足度は低く、かい離は大きい。県民はより良い環境を求めていることから、各種事業の推進が必要である。

[総括]

- ・施策目的、県の役割分担、事業体系、社会経済情勢、県民満足度調査から判断して、本施策の事業設定は概ね適切と判断する。

施策番号	2	施策名	河川や湖沼、海等の水環境の保全
------	---	-----	-----------------

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【施策満足度から】課題有
 ・施策満足度は、50点と県民はより上位の環境を求めていると思われる。

【政策評価指標達成状況から】有効 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋
 ・環境基準点(河川69地点・湖沼12地点・海域47地点)におけるBOD及びCODの年平均値の平均は1.7mg/lと目標値を満足している。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】有効
 ・環境基準達成率(H16河川 98%)、下水道普及率(H16 72.2%)の向上、家畜排せつ物処理施設の整備が進んでいることから施策の目指す方向に向かっている。

【業績指標推移から】有効
 ・各種水質保全対策事業、下水道整備事業、畜産環境整備事業、地域水環境整備事業は前年並みの実績となっている。

【成果指標推移から】概ね有効
 ・成果指標では、横ばいあるいはやや上昇傾向にあり概ね有効である。

【総括】
 ・業績指標、成果指標では一定の施策の向上が認められる。政策評価指標は目標値を満足しているにもかかわらず、施策満足度は50%程度と高くない。これは環境に対する関心が高く、より良い環境を求めているためと考えられる。
 ・成果指標、社会経済情勢では一定の施策の効果が認められることから事業群は有効と判定する。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的	概ね効率的	課題有
-----	-------	-----

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】効率的
 ・下水道の普及率が向上したことにより、河川の水質環境基準達成状況が良くなっている。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】概ね効率的
 ・生活排水対策の進捗状況を示す下水道普及率は72.2%で全国平均普及率の68.1%より高くなっている。業績指標及び成果指標も横ばいあるいは改善の傾向があり概ね効率的と判定する。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】概ね効率的
 ・下水道整備、家畜排せつ物処理施設の整備には国の補助がある。事業費は経済状況を反映し、前年並み程度となっている。計画的に整備が進められ、政策評価指標を満足していることから全体的に概ね効率的に事業が実施されているものと判断できる。

【総括】
 ・下水道及び家畜排せつ物処理施設等の整備を進め、政策評価指標を満足している。事業群は概ね効率的に実施していると判断できる。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

・施策重視度が80%と高く、公共用水域の水質保全対策の重要性は伺える。このことから関連事業の推進を継続していく必要がある。
 ・しかし、施策満足度が50%と低い、これは閉鎖性水域である湖沼や海域の水質が改善されていないことに起因するものと思われる。このためこの流域に関して特に、水質汚濁源である生活排水や家畜排せつ物による汚濁負荷を削減する下水道及び家畜排せつ物処理施設等の整備をより一層推進していく必要がある。

政策整理番号 9

事業分析カード(業績)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部環境対策課	関係部課室	産業経済部むらづくり推進課, 畜産課, 土木部下水道課, 河川課
政策番号	1 - 3 - 2	政策名	環境負荷の少ない地域づくりの推進		
施策番号	2	施策名	河川や湖沼、海等の水環境の保全		

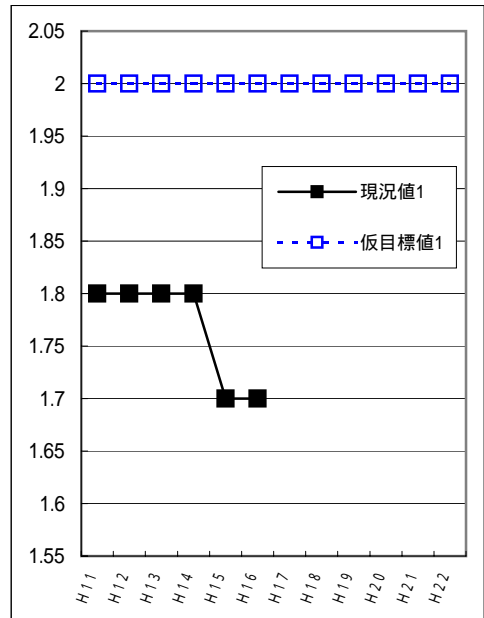
活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果								
事業番号	事業名 【担当課室名】	H17 事業費 (千円)	事業の対象 (誰・何を対象として、具体的に)	事業の手段(内容) (何をしたのか、具体的に)	業績指標名 (事業の活動量。「事業の手段」に対応)	H15	H16	H17
						事業費(千円)		
						効率性指標 (3.5E-02は3.5 × 10 ⁻²)		
1	水質保全対策事業 【環境対策課】 (公共用水域水質監視)	48,607	公共用水域	河川66水域、湖沼31水域、海域24水域を対象に常時監視を行った。	測定地点数	289 38,038 7.6E-03	290 41,000 7.1E-03	292 48,607 6.0E-03
1	水質保全対策事業【環境対策課】(釜房ダム貯水池水質保全対策事業)	3,080	釜房ダム貯水池	保全対策事業の進捗状況の確認、水辺教室の開催、啓発用パンフの作成、工場事業場の立入指導を行った。	パンフ作成数	3,400 3,572 9.5E-01	3,400 3,212 1.1E+00	3,500 3,080 1.1E+00
1	水質保全対策事業【環境対策課】(工場・事業場規制)	3,302	工場・事業場	特定事業場の届出の受理、内容審査、立入検査の実施、必要に応じて排水の検査を実施し法令遵守状況を確認した。	立入検査件数	908 3,287 2.8E-01	1,122 3,465 3.2E-01	 3,302 0.0E+00
2	下水道整備事業【下水道課】 (流域・公共)	41,650,435	宮城県・市町村	下水道施設の整備	下水道整備率(%)	60.4 43,865,851 1.4E-06	62.2 45,345,567 1.4E-06	 41,650,435 0.0E+00
3	畜産環境総合整備事業【畜産課】	1,580,120	畜産農家・営農集団・市町村等	家畜排せつ物処理施設や畜産施設周辺環境の整備を行った。	事業地区数	10 1,483,625 6.7E-06	11 1,597,141 6.9E-06	7 1,580,120 4.4E-06
4	生物を利用した水質浄化事業【環境対策課】(海藻活用水質浄化事業)	3,439	松島湾	藻場の分布調査、藻場の水質調査、アカモクの生態系調査を行った。	調査件数	5 15,000 3.3E-04	6 10,000 6.0E-04	4 3,439 1.2E-03
5	水環境の整備事業【むらづくり推進課】	304,000	施設の受益者・地域住民	農業用排水施設の護岸、広場等の整備を行った。	水辺空間設置数(当該年度完了数)	2 394,500 5.1E-06	5 252,300 2.0E-05	1 304,000 3.3E-06
6	松島湾リフレッシュ事業環境改善効果評価事業【環境対策課】	3,043	松島湾	湾内の水質調査を実施し改善効果を判定した。	調査地点数	8 3,284 2.4E-03	8 3,027 2.6E-03	8 3,043 2.6E-03
7	家畜排せつ物処理施設緊急整備事業【畜産課】	0	畜産農家	事業を実施していない。	施設設置による受益農家(戸数)	 50,000 2.3E-03	114	
8	水循環保全基本計画及び流域水循環計画策定事業【環境対策課】	8,232	主要流域	水循環保全基本計画策定作業中	検討中	0	0	8,232 0.0E+00
	[]							
	[]							
	事業費合計	43,604,258						

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部環境対策課	関係部課室	産業経済部むらづくり推進課、畜産課、土木部下水道課、河川課
政策番号	1 - 3 - 2	政策名	環境負荷の少ない地域づくりの推進		
施策番号	2	施策名	河川や湖沼、海等の水環境の保全		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位							
公共用水域(河川・湖沼・海域)の水質		mg / l							
目標値	難易度	H17	2		H22	2			
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
測定年	H10	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
現況値 (達成度判定値)	2.1	2.1	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	
仮目標値		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
達成度		B	A	A	A	A	A	A	

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・産業経済活動や個人消費の活発化に伴い、河川、湖沼、海域の公共用水域における水質汚濁の進行が懸念され、水質汚濁物質等の環境負荷の削減が重要な課題となっており、水質保全を図っていく必要がある。

(3) 施策満足度の推移

年度	H17	参考: 第2~4回の推移	H16	H15	H14			
施策重視度(中央値、点)A	80	施策重視度 A	80	80	80			
施策満足度(中央値、点)B	50	施策満足度 B	52	50	50			
かい離 A-B	30	かい離 A-B	28	30	30			
満足度60点以上の回答者割合(%)	43.2	満足度60点以上の回答者割合	44.6	41.6	39.4			

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第2~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

達成度: A
 ・平成16年度の公共用水域の測定結果によると、全環境基準点におけるBOD及びCODの年平均値の平均は1.7mg/lと目標値を満足しているものの、今後の動向を注意深く見守る必要がある。
 ・特に、閉鎖性水域である湖沼及び海域における環境基準達成率は依然として悪く、関係する各事業機関による改善施策が必要である。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続 要検討

[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]
 ・指標に関しては、現在の公共用水域の全環境基準点の測定値の年平均値の平均という数値は全般的な目安となる。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 9

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部環境対策課	関係部課室	産業経済部むらづくり推進課, 畜産課, 土木部下水道課, 河川課
政策番号	1 - 3 - 2	政策名	環境負荷の少ない地域づくりの推進		
施策番号	2	施策名	河川や湖沼、海等の水環境の保全		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

[政策評価] 施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・公共用水域の水質保全是飲水など直接県民の生活や健康に関わるものであり、政策評価指標の目標達成維持のため、引き続き重点的に実施する必要がある。

[施策評価] 事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・県民は環境負荷の少ない地域づくりの推進を重要視しており、これまでの施策の一層の実施を求めている。
 ・県民の安全と快適な生活環境を保持及びより良い環境を達成するうえで、施策の基本となる公共用水域の水質監視データの収集・解析及び生活排水対策の重要施策である下水道整備を今後とも実施していく必要がある。

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	----	----	----

[方向性の理由]
 ・県民の水質保全に対する重要度が高いことと、また、公共用水域の閉鎖性水域の環境基準の達成率が低いため。

[次年度の方向性]
 ・湖沼、内湾などの閉鎖性水域などでは水質の悪化が顕在化しているため、中小河川の直接浄化などのハード事業や水生生物など生態系を利用した浄化方法の具体化等、より効果的な水質保全施策を継続して推進する必要がある。

主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	主	水質保全対策事業(公共用水域水質監視)	48,607	維持	公共用水域の水質監視は環境対策の基本データとなるものであり、監視を継続していく必要がある。
1		水質保全対策事業(釜房ダム貯水池)	3,080	維持	県民の水ガメとなっている釜房ダム貯水池の水質保全是重要であり、保全対策を継続する必要がある。
1		水質保全対策事業(工場・事業場規制)	3,302	維持	工場事業場からの排出水を監視し、排水基準を遵守させることは公共用水域を保全するうえで重要であり継続する必要がある。
2	主	下水道整備事業(流域・公共)	41,650,435	維持	都市部、集落等の生活排水対策を進めるために重要な基盤施設であり、今後も整備していく必要がある。
3		畜産環境総合整備事業	1,580,120	維持	畜産経営に起因する環境汚染を防止し、家畜排せつ物の適正処理を促進するため、処理施設の計画的な整備を支援する必要がある。
4		生物を利用した水質浄化事業	3,439	拡充	アカモク藻場が実際の海域で果たしている役割を生態系や水質の面から定量的に把握するため、継続する必要がある。
5	主	水環境の整備事業	304,000	維持	潤いのある快適な生活環境を創造するため、水辺空間の整備を実施していく必要がある。
6		松島湾リフレッシュ事業環境改善効果評価事業	3,043	維持	松島湾リフレッシュマスタープランに基づく浄化事業の実施による水質等の環境改善状況の評価し、効果的な事業実施を支援する。
7		家畜排せつ物処理施設緊急整備事業	0	廃止	平成16年度の単年度事業である。
8	重	水循環保全基本計画及び流域水循環計画策定事業	8,232	拡充	健全な水循環の保全を図るため、水循環保全基本計画を策定し、それを基に緊急度の高い地域から流域水循環計画を策定していく必要がある。
9					
10					
		合計	43,604,258		